

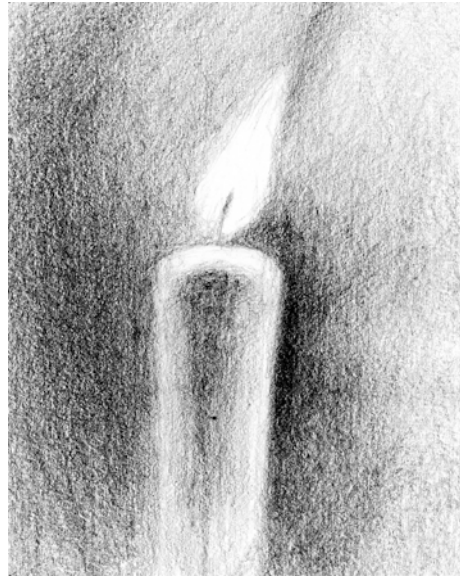


■いかずちの子■

カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512



<http://www.machida-catholic.jp/>



み言葉の内に命があった  
この命は人間の光であった。

ヨハネ 1:4

## 王であるキリスト

主任司祭 アシジの聖フランシスコ 田中 隆弘

イエスはお答えになった、「私の国はこの世のものではない」「わたしが王だとは、あなたが言っていることだ。

私は真理について証をするために生まれ、そのために来た。真理から出た者は皆、私の声を聞く」ピラトは言った。「真理とは何か」(ヨハネ 18:36-38)

2025年11月23日(日)「王たるキリストの祭日」に4年ぶりの合同堅信式が行わ

れました。当日、堅信を受けたのは17名でした。そのミサの中で、わたしたちは「堅信の秘跡を通して聖霊の力で強められた兄弟姉妹が、聖霊の恵みを信じ、その導きに従い、それぞれの場で、使徒として与えられた使命を果たしていくことができますように」と共に祈りました。それぞれのタレントを大切にしながら、  
さて、以前2019年9月

29日帰天した竹山昭神父(鹿児島教区司祭)の講話を東京で聴いたことがありました。竹山師は「罪」ということに関しての話の中で、創世記の創造物語の箇所、エデンの園には命の木と善悪を知る木が園の「中央」にあったとされている。そして、もし人がそれを食べると人は死ぬと神は語っているが、それに対してへびはその実を食べると死ぬのではなく、神のようになるという、人に食べるようにすすめる人は食べたという物語を引用して、「罪」とは人が神にかわり、その園の中央に立ち自分たち中心になった時はじまる、というような話をされました。

## 導かれて歩む信仰の道

運営委員 松村 潔

私のカトリック信者としての人生は、千葉の地から始まりました。信仰を家庭に運んでくれたのは母でした。私は千葉の聖母マリア幼稚園の一期生として、幼いころから教会の温もりに、一応、包まれて育ちました。

中学三年になる春、西千葉教会で吉川神父と山本量太郎神父のご指導のもと洗礼を授かり、カトリック信者としての第一歩を踏み出しました。このときの神父様方との出会い、信仰の始まりとともに、

高校を卒業後、浪人時代にかけて信仰に迷いが生じた時期もありました。そんな折に母の紹介で、当時柏教会の岡田主任神父(前東京大司教)

のうちに歩んでいけるように祈りましょう。



(C) 東京大司教区

と山本助任神父にあたたく迎えられ、再び信仰の道へ導かれる機会を得ました。約二か月間、教会に住み込みで、様々な活動のお手伝いを通して、奉仕の心の大切さを、身をもって教わりました。今でも忘れがたい教会との関わりが転機となった出来事です。

大学入学後には、幼稚園時代からよく知るシスター景山の誘いで、イグナチオ教会の土曜学校に関わり、最終的には校長先生も務めました。子ども達との関わりで、信仰を伝えるだけではなく、自ら考える学びも多く得ました。

そして大学卒業後は総合建設会社勤務で多忙な日々でしたが、月数回の先唱奉仕は、断ることなく続けました。

結婚後、子どもの教会学校をきっかけに、町田教会に籍を移し、当初は「目立たぬ信者」を目指して静かに過ごしておりましたが、高木神父より「建設会社での経験を活かして」とお声をかけていただき、施設管理委員会でお役に立てればと、現在、お世話になるに至っております。

母が運んでくれた信仰の種が、様々な神父様方等との出会い、そして共同体に導かれ、今へと繋がっていることに心から感謝しています。

これから『今、自分で

きること』を、感謝と奉仕の心をもって、控えめに続けて行ければと思う次第です。

## 財務状況について

財務 奥村 耕平

25年度当教会で承認された「予算計画」に沿って二つの大きな取り組みを行いました。

まず一つ目は、共同墓地の改修工事です。これまでの区画では将来の収納数に限りが見えてきたため、より多くの方をお迎えできるように、区画の見直しと再整備を行いました。工事費用は750万円となりましたが、これにより将来にわたり安心してご利用いただける環境が整いました。信者の皆さまの大切なご家族をお迎えする場所として、必要な備えができたことを感謝とともに報告いたします。

もう一つの取り組みは、教会内の照明をLED電球へ交換する工事です。こちらは300万円を要しましたが、今後の電力使用量の削減や維持管理の負担を軽減するため、計画的に実施したものです。長寿命のLEDを導入することで、電球交換の頻度が減り、教会を長く安定的に維持していくための大切な基盤作りとなりました。環境にも配慮した取り組みとして、将来につながる改善であると考

えらうのは、自分の功績をひけらかすことでも自分の過ちを隠すことでもありません。神と自分と他の人々の前に、自分のありのままの姿を正直に示し、ゆるしを願い、主の恵みに身をゆだねることなのです。

## 兄弟 教皇レオ十四世講話

### 神殿で祈るファリサイ派の人と徴税人

わたしたちを救うのは、自分の功績をひけらかすことでも自分の過ちを隠すことでもありません。神と自分と他の人々の前に、自分のありのままの姿を正直に示し、ゆるしを願い、主の恵みに身をゆだねることなのです。

参考

カトリック中央協議会  
(イラスト：ポ・池永廣美)



新教皇レオ14世



神の国は高慢な者ではなく、へりくだる者のものであり、祈りと生活の中で、誠実さとゆるしと感謝を通して育つからです。

聖性の模範であるマリアに、このような徳が成長するようにわたしたちを助けてくださることを祈り求めます。



ファリサイ派の人を  
恥と傲慢で自分の傷を隠す病人にたとえ、徴税人を謙遜と知恵で、見苦しく見えても、自分の傷をありのままに示し、助けを求めるもう一人の病人にたとえる

自分の病気を示すことを  
恥じなかったこの徴税人が  
いやされて戻ってきて、わたしたちは  
驚かない(説教(Sermones 351.11))。



聖アウグスティヌス

えております。

大きな出費があつた一年ではありましたが、一方で収入面では皆さまからの変わらぬご支援に支えられました。月定献金、ミサ献金、建設積立献金、その他の献金を合わせ、年間で約1600万円ものお力添えをいただきました。皆さまがお祈りの心とともにささげてくださった献金により、これまでの蓄えを活かしつつも、教会財政は健全に推移しております。深い感謝を心より申し上げます。

教会は、皆さまのお祈りとお支えによって歩んでいる共同体です。これからも教会の働きが守られますよう、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

## アメリカのクリスマス

ベンジャミン・ミエデマ  
Benjamin Miedema

私はアメリカ出身のベトナム人です。アメリカでは、クリスマスは家族と過ごす大切な祝日です。日本の祝日と比べたら、お正月が似ていると思います。アメリカでは「感謝の日(Thanksgiving)」っていう祝日があります。「感謝の日」は11月の最後の木曜日に祝われます。「感謝の日」が終わると、クリスマスの季節が始

まります。クリスマスの季節が始まると、家の外にクリスマスのライトを飾ったり、庭にクリスマスの飾りを置いたり、家の中でもクリスマスの飾りを置いたり、貼ったり、もちろん、クリスマスの木も飾ります。暖炉があれば、家族は全員それぞれ自分の「クリスマスストッキング」を暖炉の上に掛けます。「クリスマスストッキング」っていうのは、プレゼントを入れる用の靴下で、赤色のものが多いです。

クリスマスの飾り付け以外では、どこのお店でもラジオからクリスマスの曲が流れているし、家族や友達のために贈り物を買うし、クッキーやお菓子を作ったりします。子どもたちは学校でクリスマスの劇もします。劇の内容は、イエス様が生まれた場面についての劇です。

クリスマスの一週間前からクリスマス休みに入ります。子どもたちの学校は休みで、大人も仕事によるけど休みがあります。家族ごとによって文化がちよつと違いますが、私の家族では12月24日のクリスマススイブに教会へ行きます。みんなは、オシャレな洋服やドレスを着て教会に行きます。その後、親戚の家に集まって晩ご飯を楽しみます。その次

の日、朝にサンタからもらったプレゼントを開いて、家族にプレゼントの交換もします。クリスマスストッキングの中にはお菓子や小さなプレゼントが入っています。その後は家族で朝ごはんを食べて、ゆつくりと過ごします。

クリスマススイブとクリスマス

はほとんど外出しません。お店もやっていません。それは、家族と大切な時間を過ごすためです。お正月まで学校や仕事は休みで、その間は家族や友達と一緒に過ごします。雪が



降っているなら、外で雪だるまを作ったり、そり遊びをしたり、スキーやスノーボードにも行ったりします。家に帰ると暖炉に火を灯して、ココアを飲みながらクリスマス休みを楽しみます。

(この記事はベンさんが日本語で書かれたものです)



## ワンポイント聖書 温故知新

⑩

インマヌエル Immanuel

悩むヨセフに天使は告げた。「恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿つたのである」(マタイ1:20)と。そして、マタイ福音書はその誕生がイザヤの預言の実現であり、その子は「神は我々と共におられる」という意味で、インマヌエルと呼ばれると記した。待降節だから今回はその名について一考しよう。

その名は、インマ、ヌ、エルという3つのヘブライ語で成っている。即ち、イム(Im)と共に、英語の(with)という前置詞、ヌ(Nu)我々、英語の(us)という代名詞、エル(El)神、英語の(God)という名詞の3語だ。尤も、前置詞イムは代名詞ヌと結合するとき、語呂のためインマと音が変

わる。その結果インマヌとなり、それにエルが付くとインマヌエルとなるわけだ。

聖誕は救い主を待ち望んでいた民に、神が与えた最良の福音だった。典礼A年の基軸福音書はマタイだが、その第1章はこの「我々と共におられる神」に収斂する。

ところが、「と共に」と言うキーワードは、マタイ28章でも1章と呼応するかのよう現れるのだ。主が「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」と言われたからだ。インマヌエルと呼ばれた主は自分の方からそう断言された。でも、それは主客対象が入れ替わっている。それに気付くと、私たちは驚きを禁じ得ない。救いの御業は何と深く一貫していることか!と。

余生風 佐藤 正明



11月16日  
七五三おめでとう

## 共同墓地の改修

小溝 茂雄

2000年に設立された町田教会共同墓地は、2019年に続いて再び墓誌の増設が必要となりました。

幸い墓地裏側の敷地を東京大司教区から借用することができ、敷地を2倍に拡張して墓誌を増設すると共に、地下に散骨室を新設する改修工事を行うことにしました。工事は4月に開始されて8月末に完了し、11月5日の共同墓参に併せて祝別を行いました。共同墓参は、田中神父様司式のもと、教会からのマイクロバスと直接現地に向いた35名で祈りを捧げました。

11月5日の共同墓参→

拡張された墓地と増設された墓誌 ↓



**2025年 降誕祭と新年のミサ**

「主の降誕(夜半)」のミサ 12月24日(水)

17:00~  
19:00~  
22:00~

ミニコンサート  
16:15~/16:30~  
18:30~

「主の降誕(日中)」のミサ 12月25日(木)

10:00~

2026年1月1日(木)元旦

「神の母聖マリア」のミサ 11:00

## 避難訓練の実施

運営委員会議長 福富英里子

10月5日(日)に《地震》想定で避難訓練を実施しました。屋外のマリア像前に防災本部を設置し、本部長、副本部長、救護班が待機。指示アナウンス係、誘導係、残留者確認係、車椅子誘導係に分かれて誘導しました(案内・受付係にも応援を要請)。約150名の方が参加。避難開始から5分で完了。混乱なく避難することができました。次回は外国の方、高齢の方に分かりやすく周知し、より多くの方にご参加頂けたらと思います。

## 待降節講話



林正人神父をお迎えしての講話  
(12月7日)



ダニロ・バジェホス・ムティア指導司祭による英語の講話  
(11月30日)

## 信者動静

2025年9月~11月

(個人情報のため、削除しています)